

問1 木曽川、長良川、揖斐川の下流に広がる濃尾平野の低湿地帯では、古くから河川の氾濫による水害を防ぐための工夫が行われてきました。集落や耕地の周囲を堤防で囲んだ、この地域特有の仕組みや集落を何と呼びますか。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. 輪中（わじゅう）                      2. 扇状地（せんじょうち）                      3. カルデラ                      4. シラス台地

問2 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈という険しい山々が並ぶ地域や、その南側の富士山に近い地域で見られる気候の特色について、正しい説明はどれですか。（2019年 大阪公立入試 類似）

1. 高い山々に囲まれた盆地が多く、夏と冬の気温差や昼夜の温度差が大きい内陸の気候となる。                      2. 黒潮の影響を強く受けるため、一年を通じて温暖で降水量が多い太平洋側の気候となる。                      3. 季節風が山脈を越えてくるため、冬には日本海側特有の平野部よりも多い降雪が一年中続く。                      4. 標高が高いため、一年を通じて湿った空気が流れ込み続け、国内で最も降水量が多い地域となる。

問3 日本の都道府県別の工業統計において、製造品出荷額が全国で最も多く、その内訳として「輸送用機械」が53.5パーセントと、全体の過半数を占めている県はどこですか。（2019年 鳥取公立入試 類似）

1. 愛知県                      2. 静岡県                      3. 千葉県                      4. 北海道

問4 日本の工業地帯・地域別の統計において、全国の工業生産額の約27.1%を占め、第1位となっている地域の特徴として最も適なものとはどれか。（2015年 大分県公立入試 類似）

1. 自動車産業の強力な集積を背景に、輸送用機械の製造品出荷額が非常に多い中京工業地帯を含んでいる。                      2. 印刷・出版業が集積し、東京都を中心とした巨大な消費地に隣接する京浜工業地帯を中心としている。                      3. 石油化学コンビナートが沿岸部に形成され、化学工業の割合が高い瀬戸内工業地域を中心としている。                      4. 古くから繊維工業や金属工業が発展し、現在は中小の機械工場が密集する阪神工業地帯を含んでいる。

問5 中部地方の工業、特に中京工業地帯における「輸送用機械器具製造業」の特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 自動車や航空機などの製造を指し、広大な用地と膨大な数の関連部品工場を必要とするため、裾野の広い産業構造を形成している。                      2. 高度な技術を要する電子辞書やデジタルカメラの製造が中心であり、製品の軽量化により空港近くの内陸部に工場が集中している。                      3. 海外から輸入した原油を加工して燃料や化学製品を作る産業であり、大規模な石油コンビナートが海岸沿いに形成されている。                      4. 石炭や鉄鉱石を原料に鋼材を作る産業であり、高度経済成長期に大型の製鉄所が建設されたことで発展を遂げた。

問6 愛知県の伊勢湾沿岸では、東西約20kmにわたる大規模な埋立地が造成され、中京工業地帯の中核を担う鉄鋼業が発展しました。この地域で生産される鋼板などの鉄鋼製品について、現在の原料の調達状況と主な供給先を組み合わせた説明として最も適切なものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）

1. 輸入した原料を使用し、主に近隣の自動車産業に向けて供給している                      2. 国内産の原料を使用し、主に船舶の製造のために供給している                      3. 輸入した原料を使用し、主に海外へ輸出するための缶詰容器として加工している                      4. 国内産の原料を使用し、主に建築用の建材として全国へ出荷している

問7 愛知県の渥美半島は、かつては水不足に悩まされる地域でしたが、ある大規模な用水路が整備されたことで、日本有数の農業地帯へと発展しました。この地域に供給され、施設園芸農業の発展を支えている用水の名称として正しいものはどれですか。（2026年 富山公立入試 類似）

1. 豊川用水                      2. 愛知用水                      3. 明治用水                      4. 香川用水

問8 日本の諸都市のうち、12月から2月にかけての月ごとの降水量が300ミリメートルを超え、夏場よりも冬の降水量が際立って多いという特徴を持つ気候区分に属する都市として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2020年 神奈川県公立入試 類似）

1. 金沢市                      2. 札幌市                      3. 仙台市                      4. 名古屋市

問9 自然災害が発生した際に住民が迅速かつ安全に避難できるよう、地形や過去の災害記録に基づいて作成される地図があります。静岡市において、大谷川や金川などの河川周辺や沿岸部の浸水想定区域を示し、避難場所の位置や避難すべき方向などの情報を具体的に記載したものを何と呼びますか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. ハザードマップ                      2. マニフェスト                      3. バリアフリーマップ                      4. 都市計画図

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>輪中（わじゅう）</b>	濃尾平野の下流域は海拔が低く、三つの大きな河川が合流・分岐を繰り返すため、古来より洪水が多発する地域でした。住民は自らの居住地や田畑を水害から守るため、集落の周りをぐるりと堤防で囲む「輪中」を形成しました。これは地形的制約を克服するための生活の知恵として知られています。
問2	<b>答え 1</b> <b>高い山々に囲まれた盆地が多く、夏と冬の気温差や昼夜の温度差が大きい内陸の気候となる。</b>	長野県や山梨県は日本アルプスなどの高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入りにくく、降水量が比較的少ない内陸の気候（中央高地の気候）となります。また、盆地は熱がこもりやすく、夜間は放射冷却により冷え込みやすいため、気温の年較差や日較差が大きくなるのが特徴です。
問3	<b>答え 1</b> <b>愛知県</b>	中京工業地帯の中心であるこの県は、豊田市などを中心に自動車工業が極めて盛んです。製造品出荷額は1977年以来、連続して日本一を維持しており、産業構造としても自動車などの輸送用機械への依存度が非常に高いことが特徴です。
問4	<b>答え 1</b> <b>自動車産業の強力な集積を背景に、輸送用機械の製造品出荷額が非常に多い中京工業地帯を含んでいる。</b>	中部地方の太平洋側に位置する中京工業地帯は、愛知県の豊田市などを中心に世界的な自動車産業の集積地となっており、日本の工業生産額において長年第1位を維持しています。特に輸送用機械の占める割合が極めて高いことが、全体の生産額を押し上げる大きな要因となっています。
問5	<b>答え 1</b> <b>自動車や航空機などの製造を指し、広大な用地と膨大な数の関連部品工場を必要とするため、裾野の広い産業構造を形成している。</b>	輸送用機械器具製造業の代表例である自動車産業は、一つの製品を完成させるために数万点の部品を必要とします。そのため、中部地方には組み立て工場だけでなく、部品を供給する関連工場が数多く集まっており、製造品出荷額において他業種を圧倒する規模となっています。他の選択肢は、電気機械、石油化学、鉄鋼業についての説明です。
問6	<b>答え 1</b> <b>輸入した原料を使用し、主に近隣の自動車産業に向けて供給している</b>	中京工業地帯は愛知県を中心に発達した日本最大の工業地帯です。かつては国内産の原料も使用されていましたが、現在は輸入原料への依存が高まっています。特に愛知県は自動車産業が非常に盛んであるため、沿岸部の製鉄所で作られた鋼板は、自動車の車体などの材料として供給されるという密接な関連（関連工業の集積）があります。
問7	<b>答え 1</b> <b>豊川用水</b>	渥美半島はもともと大規模な河川がなく水不足に悩まされていましたが、1960年代に豊川用水が完成したことで、安定した農業用水の確保が可能になりました。これにより、温室を利用した施設園芸農業が急速に発展しました。なお、愛知用水は知多半島、明治用水は安城市周辺（西三河平野）を流れる用水です。
問8	<b>答え 1</b> <b>金沢市</b>	北陸地方に位置する金沢市は、日本海側の気候に属しています。この地域では、冬にシベリア大陸から吹き出す北西の季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に水蒸気を蓄え、本州中央部の山脈にぶつかることで大量の雪を降らせます。そのため、夏季よりも冬季の降水量が非常に多くなるという、世界的に見ても珍しい気候特性を持っています。なお、札幌市は冷帯（亜寒帯）で冬の降雪はあるものの、金沢市ほど冬季の降水量は突出しません。
問9	<b>答え 1</b> <b>ハザードマップ</b>	住民の安全を確保するために、自然災害による被害が予想される区域や、避難場所の位置、避難すべき方向などを具体的に示した地図をハザードマップ（被害想定図）と呼びます。静岡市のような沿岸部を含む地域では、地震に伴う津波の浸水想定を網掛けなどで視覚的に示すことで、迅速な避難行動を促す役割を担っています。